



DxO Optics Pro v6.5 – リリースノート

Windows 版（リビジョン 4661、ビルド 21）

サポートしているシステム

- 400 MB の空きディスク容量
- 最低 2GB メモリ
- 20 メガピクセル/2000 万画素以上の RAW 画像を処理する場合 64 ビットのシステムと 4GB メモリを強く奨励
- Windows XP（32 と 64 ビット対応）、Windows Vista（32 と 64 ビット対応）、Windows 7（32 と 64 ビット対応）

インストール

- .NET Framework 4.0 がインストールされていない場合、自動的にインストール（ダウンロードには数分かかり、ダウンロード後、再起動が必要）
- 弊社製品をインストールする前に、Windows の最新アップデートのインストールを奨励

v6.2 と比較しての新機能

- 一枚の RAW 画像から HDR 効果を得られる [シングルショット HDR] プリセットの追加
- RAW 画像のノイズ除去機能
 - 広い範囲の色ノイズの効果的な除去（[クロミナンス] と [ルミナンス コントラスト] のカーソルを使用）従来の [ルミナンス] カーソルは [ルミナンス ディテール] と改称
 - 色モアレ除去のコントロール新規追加
- DxO Lighting の改善
 - 逆光や露光アンダーのリカバリのために、数値が高い場合のガンマのカーソルの効率アップ
 - シャドウ保持のカーソルの追加で、画像のシャドウ部のより細かいコントロール可能
 - DxO Lighting の RAW 画像に対する明度の著しい改善とカラーコントロールの改善
- Lightroom 3 の外部編集機能のサポートとカタログの参照可能
- [選択] タブ上で画像の拡大機能を追加しプロジェクトに追加する前に画像の確認可能
- ローカルヘルプ機能の追加
- 高感度 ISO で撮影された画像に対し行うディテールのレンズブラー補正の際のノイズ除去の改善（[DxO レンズブラー] パレットの [ディテール] カーソル使用）
- 新スタンダード版とエリート版対応のカメラ 6 機種追加
 - Canon 60D、Canon S95、Canon G12
 - Nikon D3100
 - Pentax K-x
 - Sony A290
- 158 個の DxO 光学モジュール新規リリース

他社ソフトとの互換性

- Lightroom 1.4、2.x、Lightroom 3 をサポート

v6.2 と比較しての改善点

- バッチ処理中断の問題の解決
- 起動時のクラッシュの問題の解決

既知の機能制限

- Macintosh と Windows 間でプリセットの互換性がない。
- Canon 製のカメラの中には、ヴィネット補正を JPEG 画像に対して行うものがありますが、DxO Optics Pro はこの情報を認識できず、画像のヴィネット補正は無効になります。DxO モジュールは、ヴィネット補正がオフになっている状態の画像に対して補正をかけるように調整されています。このため DxO Optics Pro を使って最適なヴィネット補正をするために、カメラ内蔵のヴィネット機能をオフにして撮影することをお勧めします。
- Lightroom 2.0 と 3 のスマートコレクションの参照が DxO Optics Pro からできない。
- Vista 上で v4 で作成したガンマテーブルのついた ICC プロファイルが適切にサポートされない。

Macintosh 版 (ビルド 7991)

システム要件

- インテルマックのみ
- 400 MB の空きディスク容量
- 最低 2GB メモリ
- 20 メガピクセル/2000 万画素以上の RAW 画像を処理する場合 3GB メモリを強く奨励
- Mac OS X.5 (レパード) と Mac OS X.6 (スノーレパード) に対応

v6.2 と比較しての新機能

- 一枚の RAW 画像から HDR 効果を得られる [シングルショット HDR] プリセットの追加
- RAW 画像のノイズ除去機能
 - 広い範囲の色ノイズの効果的な除去 ([クロミナンス] と [ルミナンス コントラスト] のカーソルを使用) 従来の [ルミナンス] カーソルは [ルミナンス ディテール] と改称。
 - 色モワレ除去のコントロール新規追加。
- DxO Lighting の改善
 - 逆光や露光アンダーのリカバリのために、数値が高い場合のガンマのカーソルの効率アップ
 - シャドウ保持のカーソルの追加で、画像のシャドウ部のより細かいコントロール可能
 - DxO Lighting の RAW 画像に対する明度の著しい改善とカラーコントロールの改善
- Lightroom 3 の外部編集機能のサポートとカタログの参照可能
- [選択] タブ上で画像の拡大機能を追加しプロジェクトに追加する前に画像の確認可能
- ローカルヘルプ機能の追加
- 高感度 ISO で撮影された画像に対し行うディテールのレンズブラー補正の際のノイズ除去の改善 ([DxO レンズブラー] パレットの [ディテール] カーソル)
- クロップツール使用時に三分割法の罫線 (グリッド) の表示
- 新スタンダード版とエリート版対応のカメラ 6 機種追加
 - Canon 60D、Canon S95、Canon G12
 - Nikon D3100
 - Pentax K-x
 - Sony A290
- 158 個の DxO 光学モジュール新規リリース

他社ソフトとの互換性

- Lightroom 1.4、2.x、Lightroom 3 をサポート

v6.2 と比較しての改善点

- バッチ処理中断の問題の解決。スタックとバーチャルコピーのサポート
- DxO 光学モジュールがなくてもボリュウム歪像補正が可能

既知の機能制限

- Macintosh と Windows 間でプリセットの互換性がない。
- ソニー製のソフトウェア IDC (イメージ・データ・コンバータ) を使って変更された場合、Sony α 450、α 500、α 550 で撮影された RAW 画像のホワイトバランスが正確でない。
- [設定] タブの [ダスト除去ツール] を使うと点線が表示画像上で確認できるが、処理画像には問題がない。
- [画像を ICC プロファイル作成のためにエクスポートする] 機能が使えない。
- Lightroom 2.0 と 3 のスマートコレクションの参照が DxO Optics Pro からできない。
- Canon 製のカメラの中には、ヴィネット補正を JPEG 画像に対して行うものがありますが、DxO Optics Pro はこの情報を認識できず、画像のヴィネット補正は無効になります。DxO モジュールは、ヴィネット補正がオフになっている状態の画像に対して補正をかけるように調整されています。このため DxO Optics Pro を使って最適なヴィネット補正をするために、カメラ内蔵のヴィネット機能をオフにして撮影することをお勧めします。